

観光客実態調査（H30 年 2 期）速報

〈今回公表する調査結果〉

- ・平成 30 年 2 期速報結果（抜粋）

〈目的〉

- ・伊勢市を訪れる観光客の旅行目的、来訪手段、滞在種別（日帰り・宿泊）、立寄り箇所数、消費額、満足度など行動実態に関する調査を実施し、その特性、傾向等を分析することにより本市の観光の実態を明らかにし、本市の観光施策の効果的な推進を図る。

〈調査日〉

平成 30 年 2 期（1 回目）：平成 30 年 7 月 21 日（土）

〃（2 回目）：平成 30 年 8 月 25 日（土）

〈調査方法〉

- ・本市内の調査地点を訪れた観光客を対象に、調査員による「対面聞き取り調査」を行った。

〈調査地点〉

- ・外宮周辺（外宮前広場）
- ・内宮周辺（おかげ横丁）
- ・二見（二見浦公園駐車場）
- ・河崎（河崎商人館周辺）

〈調査対象〉

- ・調査地点を訪れた観光客を対象とする（市民を除外しない）。
- ・外国人観光客は対象としない。

〈回収数〉

平成 30 年 2 期：669 サンプル（うち市民 33 サンプル）

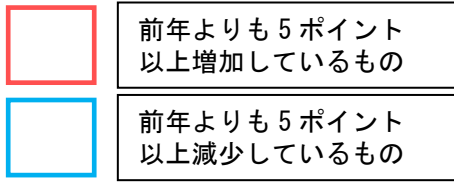
【参考】（平成 29 年）1 期（3 月）：359 サンプル（うち市民 6 サンプル）
2 期（7 月・8 月）：646 サンプル（うち市民 23 サンプル）
3 期（11 月）：383 サンプル（うち市民 12 サンプル）
4 期（12 月）：341 サンプル（うち市民 14 サンプル）
（平成 30 年）1 期（3 月）：366 サンプル（うち市民 10 サンプル）

〈留意事項〉

- ・本資料は、平成 30 年伊勢市観光客実態調査 2 期の速報値を用いて作成した。
- ・端数調整により、割合の合計が 100% とならない場合がある。

●平成 30 年伊勢市観光客実態調査（2期）速報結果

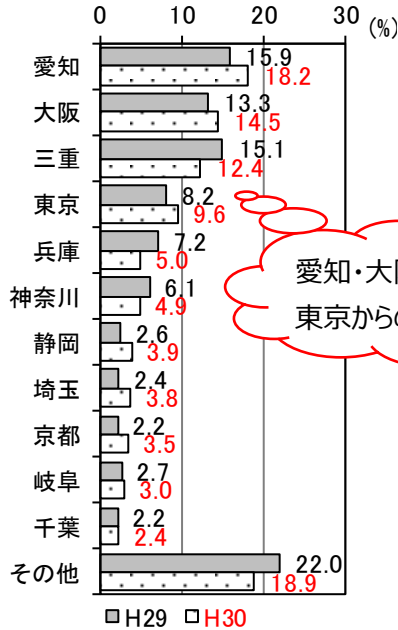
※調査自体は市民を含んで実施していますが、下記のグラフからは市民を除いています。



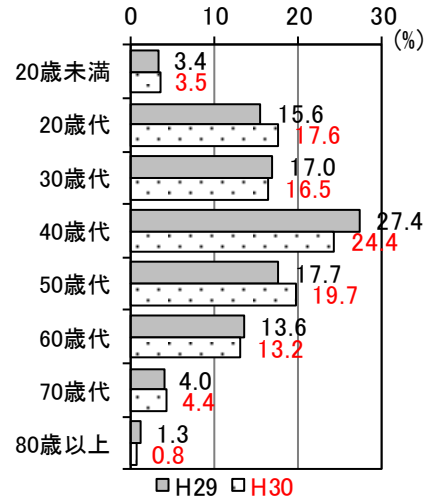
1. 観光客の属性

～ 40～50 歳代、家族（子どもと）、愛知・大阪からが多い／滞在時間は短縮傾向 ～

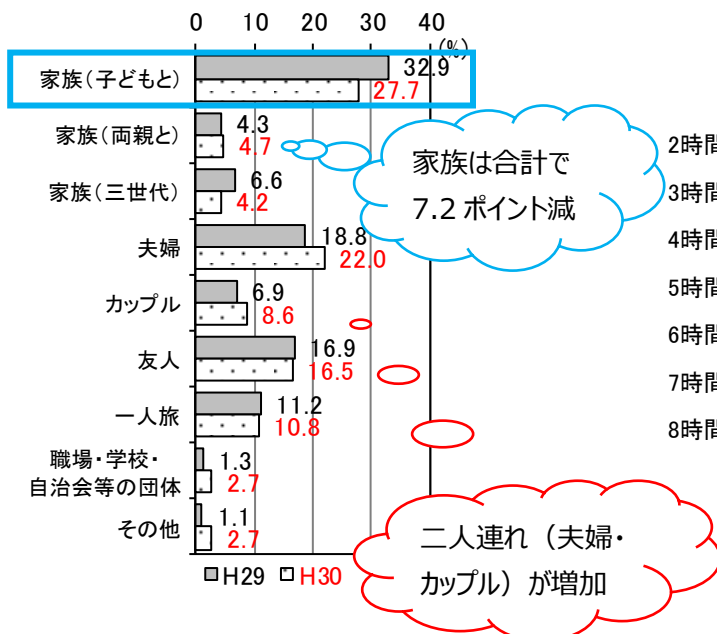
(1) 居住地（都道府県別）



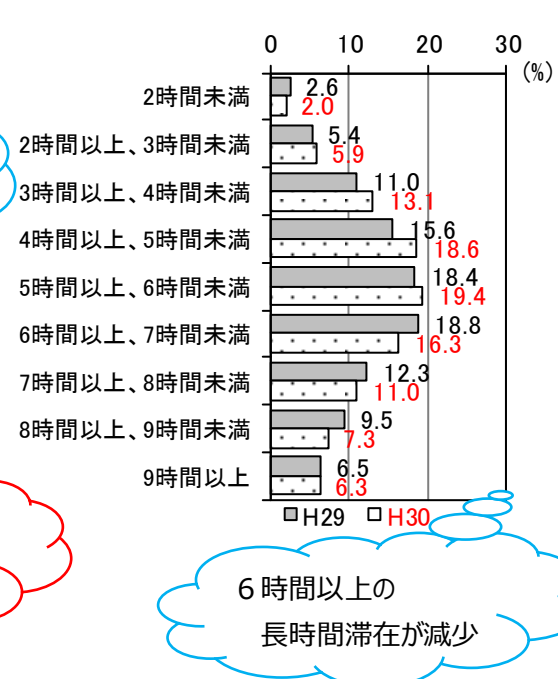
(2) 年齢



(3) 同行者の種類



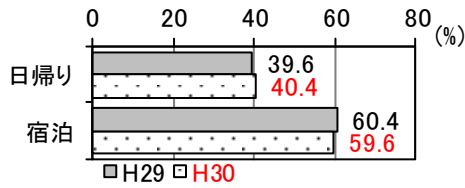
(4) 日帰り客の伊勢市の滞在時間



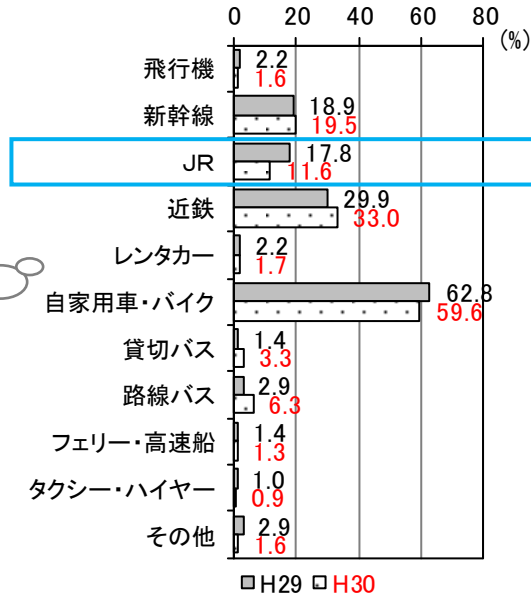
2. 旅行行程

～ 日帰りの割合が高い / 自家用車・公共交通利用が多い ～

(1) 宿泊の有無



(2) 利用交通機関

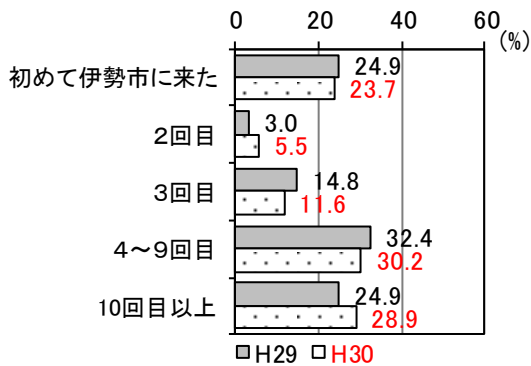


「JR」のほか「自家用車・バイク」も減少している
「近鉄」と「貸切バス」
「路線バス」が増加

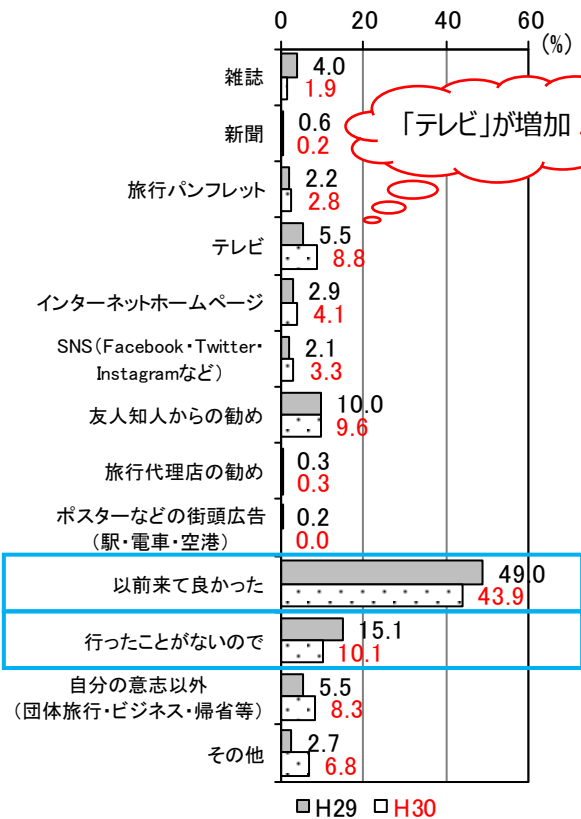
3. 伊勢市を選んだ理由

～ リピーターの多さ / 以前来て良かった ～

(1) 訪問回数



(2) 伊勢市を選んだきっかけ

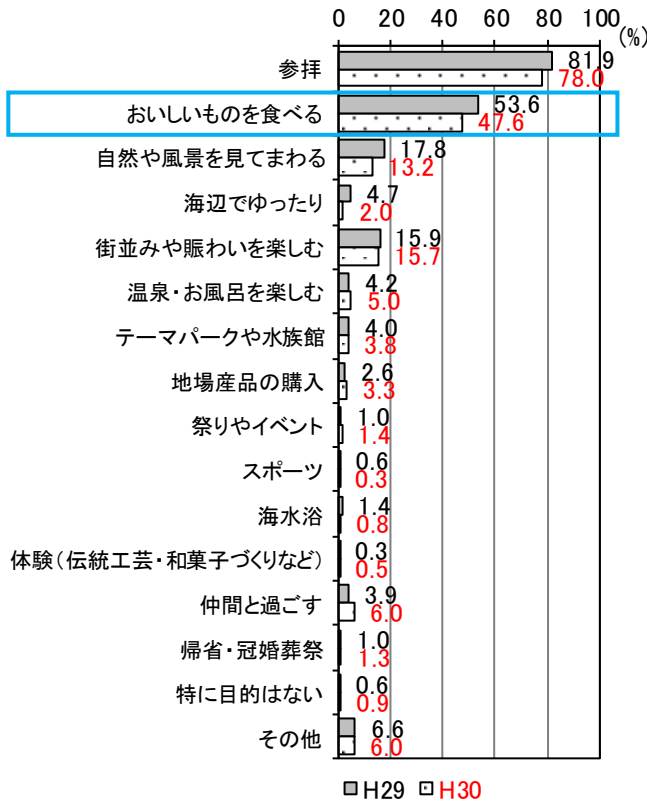


「以前来て良かった」は依然高いが、
前年から 5.1 ポイント減少

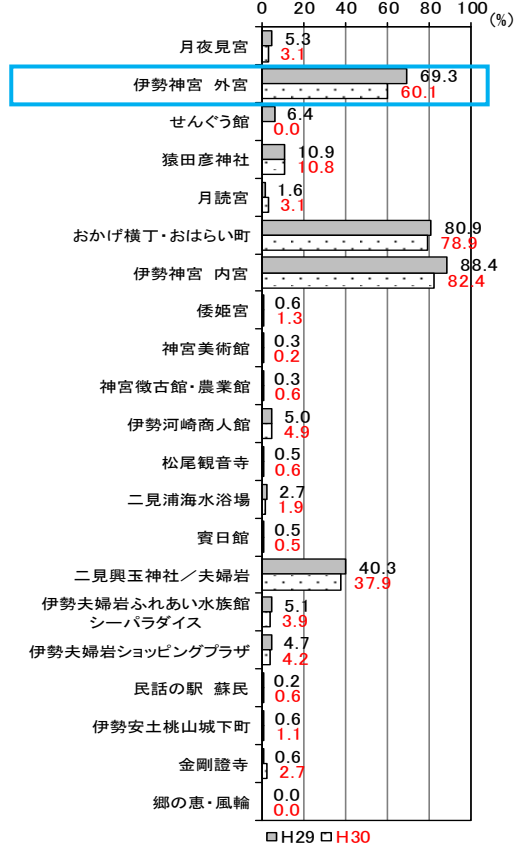
4. 観光目的地

～ 目的は参拝（神宮・興玉神社等）と食／立ち寄り地点数は減少 ～

(1) 旅行目的

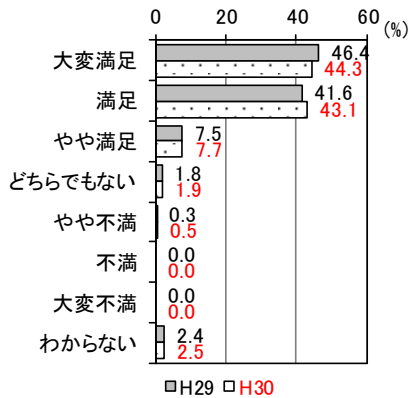


(2) 立ち寄り観光地（予定含む）

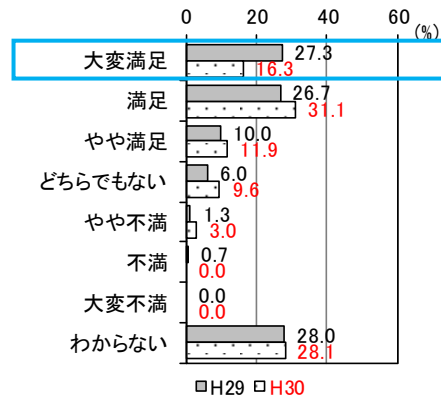


5. 本市観光の満足度 ～ 「飲食施設」以外で前年を下回る／総合満足度が低下 ～

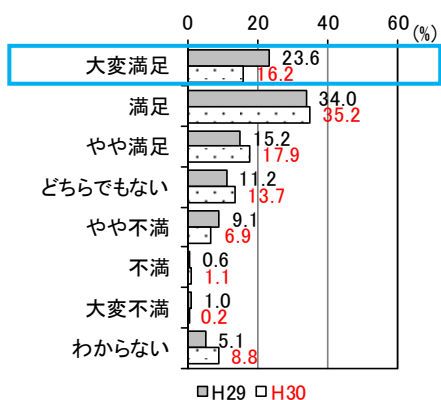
(1) 景観・雰囲気への満足度



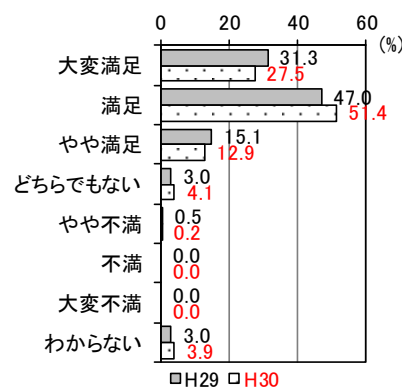
(2) 宿泊施設



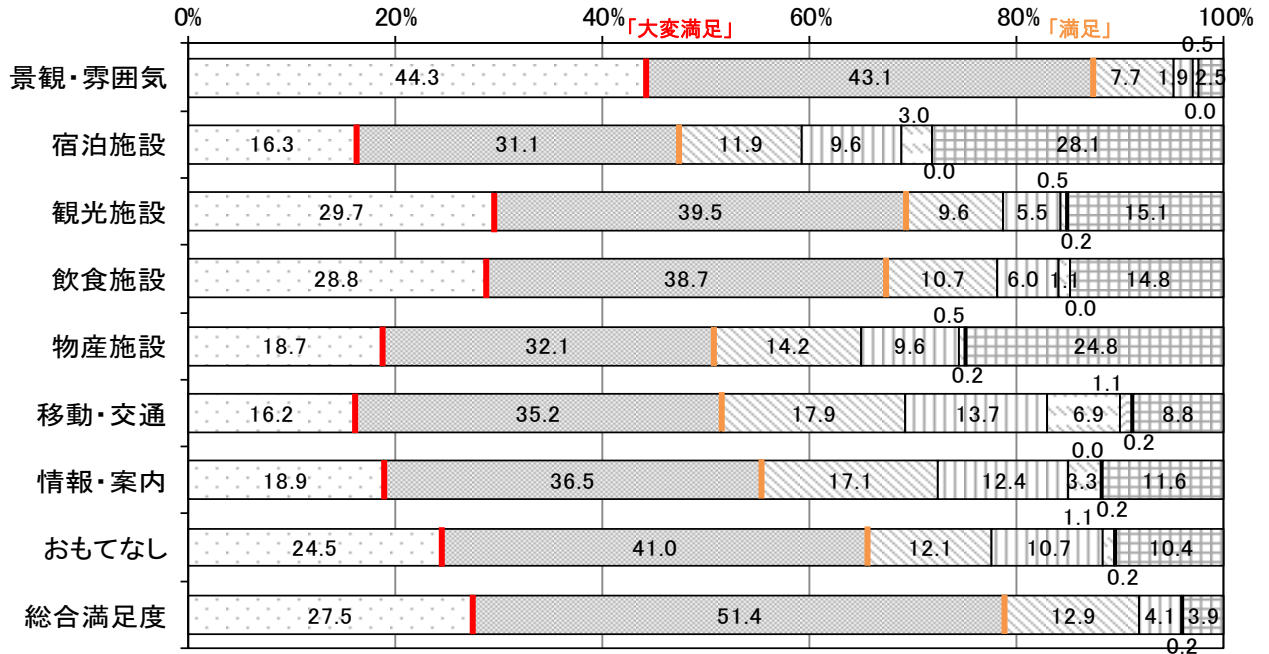
(3) 移動・交通への満足度



(4) 総合満足度

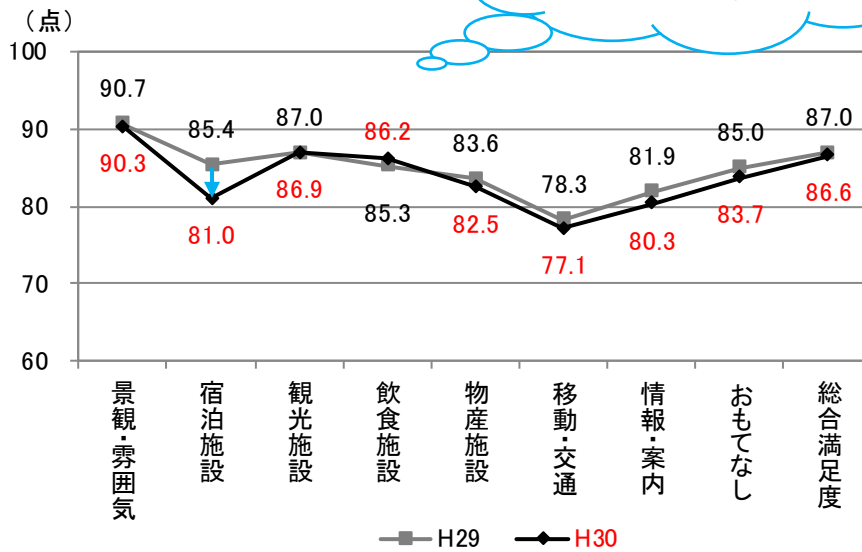


(4) 各項目の満足度の比較 (構成比) (平成 30 年)



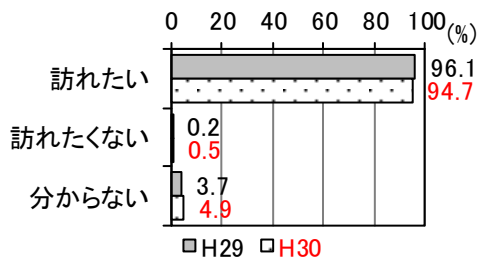
□大変満足 □満足 □やや満足 □どちらでもない □やや不満 □不満 □大変不満 □わからない

(5) 各項目の満足度の比較 (点数)



《飲食施設》以外、全項目で前年と比べて点数を下げている。
《宿泊施設》の下げ幅が最も大きい。

(6) 伊勢市の再訪意向



《宿泊施設》の満足度は、3月に実施した1期の調査でも、前年と比べて下がっています。

また、掲載した項目以外では、観光消費額の減少が目立ちました。

平均消費額 18,564 円 (前年同期比 81.1%)

減少幅が大きかったのは、「土産代 (前年同期比 65.4%)」「宿泊費 (同 66.9%)」でした。